

学校・家庭・地域社会の さらなる連携に向けて ～「いしかわ教育の日」を制定～

石川県では、県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携し、本県の教育の充実と発展を図るため、11月1日を「いしかわ教育の日」とし、また、教育の日にふさわしい取組を集中的に展開する期間として11月1日から7日までを「いしかわ教育ウィーク」としました。

「いしかわ教育ウィーク」期間中の取組

◆「いしかわ教育の日」制定記念大会（仮称）の開催

日時 平成17年11月1日（火） 会場 石川県文教会館
内容 「いしかわ教育の日」宣言、記念講演、児童・生徒による体験発表等

◆いしかわの教育あゆみ展の開催

期間 平成17年11月1日（火）～23日（水） 会場 石川県文教会館
内容 教材・教具の歴史、学校施設の整備、スポーツの振興発展等

◆学校の取組

小、中、高等学校等において、PTAや地域住民等と連携しながら、授業公開、学校公開、意見交換など、学校、家庭、地域社会が一体となった事業を一斉に展開



「標語」及び「ポスター」の募集

教育の日や教育ウィークを広く県民の皆様にご存知いただき、教育について県民全体で考える気運を盛り上げるため、教育に関する「標語」と「ポスター」を募集します。教育のあり方、学校や先生、おとなに言いたいこと、子どもや児童・生徒に期待すること、学校生活の思い出など、教育に関することで、あなたが思っていることを標語やポスターにして応募してください。

★応募作品

☆**標語** ・おおむね20文字以内とします。（漢字も1文字と数えます。）
・趣旨の簡単な説明を付けてください。
・郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業又は学校名・学年、電話番号を記入の上、郵便（官製ハガキも可）、ファックス又は電子メールにて提出してください。

☆**ポスター** ・サイズは、小学生の部は八つ切り以上A2判以下、それ以外は四つ切り以上A2判以下とします。
・作品中には必ず「教育の日」又は「教育ウィーク」の文字（ひらがな可）を記入してください。
・作品裏面の右下に、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業又は学校名・学年、電話番号を記入の上、郵送してください。

★**応募期限** 平成17年9月9日（金）（消印有効）

★**提出先** 児童・生徒は学校、一般の方は県教育委員会（下記応募・問い合わせ先を参照）に提出してください。

★**入賞作品の選考** 標語、ポスターとも
小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部
それぞれ最優秀賞1作品（賞状及び1万円分の図書券）
優秀賞2作品（賞状及び5千円分の図書券）

★**選考結果の発表** 平成17年10月中に入賞者に通知するとともに、県教育委員会のホームページ上で発表します。

【応募・問い合わせ先】

石川県教育委員会庶務課企画調整室 〒920-8575 石川県金沢市鞍月1-1
電話：076-225-1812 FAX：076-225-1814
E-mail：k-kohou1@pref.ishikawa.jp
ホームページ：http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/kyoikunohi/index.htm

教育

たいあつぷ

No.17
2005
7月

発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL (076) 225-1811

「いしかわ教育の日」の制定にあたって

子どもたちの輝く未来のために



石川県知事 谷本 正憲

近年は、石川県出身の松井秀喜選手のアメリカ大リーグでの活躍、また、昨年のアテネオリンピックでも卓球の福原愛選手のがんばりなど若者の国際舞台での活躍はめざましいものがあります。しかし、その一方、子どもたちの周りでは、いじめ・不登校や学力低下など、様々な問題が起こっています。こうした問題は、保護者の皆様にとって、大変身近で切実な問題となっています。

石川の次代を担う子どもたちの育成は、県政の最重要課題の一つであり、「心豊かで創造力のある人づくり」を目指して、教育委員会はもとより、全庁あげて横断的・総合的に取り組んでいます。

県では、本年当初県議会での議決をいただき、11月1日を「いしかわ教育の日」とする条例を制定いたしました。この条例は、学校、家庭及び地域社会が連携し、ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学ぶ人づくりを進めることにより、本県教育の充実と発展を図ることを大きなねらいとしているものです。県民の皆様方一人お一人が改めて、教育の重要性を認識していただく契機になればと願っています。

教育の原点は、他人を思いやり、自然を大切に、伝統文化や社会規範を尊重し、ふるさとに誇りを持つ心を育てる。そして、社会生活に必要な基礎的知識を身につけることであると考えています。

これからの教育は、行政や学校が一層の努力をすることはもちろんですが、家庭や地域社会が、共に取り組んでいくことが大変重要なことであると思います。

子どもたちは親の宝であると同時に社会全体の宝です。子どもたちの輝く未来のために、学校、家庭、地域社会が、教育について共に考え、力を合わせて次代の「石川っ子」を育てていきたいものです。